

(様式1)

## R3特色あるサービス倫理委員会の取組状況

# 『職場の力』を高める～チーム学校として～

## 取組の内容

相馬市立向陽中学校

本校では、すべての教職員が当事者意識・危機意識をもち、職場全体で不祥事を起こさない『職場の力』を高めることができるようにいくつかの取組を行っている。

### ① ボトムアップ型によるサービス倫理委員会全体会

サービス倫理委員が1つのテーマを決め、具体的な事例や資料を基に全体会を運営している。委員自身の目線で、本校で起こりうる事例を取りあげ、各自が「自分事」として捉えることができる場を設定している。



### ② 適正な公金処理についての研修

日常的に公金の処理を行う事務職員を講師として研修を行い、専門的な立場から必要な手続きや不適正となる処理等について他の教職員に教示する機会を設けた。また、現金保管や支払業務等に関するルールの見直しを図った。

**ポイントは横領？手間賃？不信感を持たれない会計を！**

以前学校に届いた通知で「学校徴収金（学年費等）により物品等を購入する際に、個人所有のポイントカードを使用し、支払い時にポイントの加算を受けていた」という事例が取り上げられたことがありました。

これは公金を取り扱う中で、物品等の購入によりポイントを取得し、「私的に利益を得た」ことになり大変不適切な処理となります。

公金の支払い時には、個人所有のポイントカードやクレジットカード等を絶対に使用しないよう注意してください。

ポイントカードを使用したレシートは、ポイント情報が表示されています。ポイントの記載部分を切り取っても、ダメです！

学級会計等から物品を購入する際は、ポイントカードの利用や現金払い、現金のみ見合い現金で現金カードやクレジットカード、QOペイのようなスマホ決済をいった現金以外での支払いは、不適切な処理となります。絶対に行わないようにしてください。

これらの決済にはなんらかのポイント還元があることがほとんどです。故意でなくても、利益を得てしまうことは許されません。

### ③ 日常的なサービス倫理意識の向上

- ・ 新聞記事を利用し、日常的にコンプライアンス意識を高めることができるよう「サービス倫理だより」を配付及び掲示している。
- ・ 本校独自の「教職員不祥事根絶へ向けた私たちの決意」をカード化し、携帯したり、自分の机の見えるところにおいていたりしている。
- ・ 県教委の「不祥事防止のためのチェックシート」を自校化し、定期的かつ簡単に取り組めるようにしている。

#### 教職員不祥事根絶へ向けた私たちの決意

- 1 指導する立場にあることを自覚し、コンプライアンスに努め、信頼を高めます。
  - 2 広い視野で、一社会人としての常識を持って行動します。
  - 3 生徒、同僚を大切にし、笑顔が見える風通しのよい職場環境をつくります。
  - 4 当事者意識で自己の勤務、生活を見直し、誇りを持って勤務に専念します。
- 令和3年6月11日 向陽中学校

#### サービス倫理だより



## 成果と課題

③のような日常的な取組により、それぞれが「自分事」としてとらえ、常に当事者意識・危機意識をもつことができた。

また、「チーム」としていかに『職場の力』を高めることができるかが本校の課題であったが、④の取組により、管理職ではなく委員自らが本校で起こりうる身近な事例を取りあげ、「組織」としてどのようにしていくべきかを考えることができた。さらに、②の取組では事務職員を中心とした話し合いを行うことで、全教職員一丸となって不祥事防止に努めようとする意識がより高まった。しかし、公金処理への認識の甘さが浮き彫りになるなど、規程をより明確にする必要性も出てきた。

教職員が相互に関心をもち、互いに不祥事を防止できる、発生の兆しを周囲が把握できるような『職場の力』を高めることができるよう努めていきたい。